

平成18年春ヨコワ情報

(平成17年度)

平成18年2月23日
鹿児島県水産
技術開発センター



1 今後のヨコワの来遊予測

3月から4月までの本県へのヨコワの来遊は、次のように予測されます。

漁獲量は、好調だった前年度を下回り、低調に推移すると思われます。

漁期は、平年に比べやや早く開始されています。

主漁期は、3月までと予測され、漁況は低調になると思われます。

魚体は、平成17年夏生まれの1~2kgサイズのヨコワが主体になると思われます。

3月以降、平成17年春生まれの1歳魚の来遊は少ないものの、平成17年夏生まれの1歳魚が来遊する可能性は高いと思われます。

2 予測の根拠

長崎県対馬海域では、例年10月頃にヨコワ漁場が形成され、翌年の1月頃になるとヨコワ漁場は長崎県五島海域に南下するが、海況条件等が整えばその一部のヨコワ魚群が本県海域に来遊すると考えられています。

今期、現在まで得られている情報は、次のとおりです。

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| (1) 冬季の水温 | 平年並み~高め (詳細は、3-(1)- , 参照) |
| (2) 長崎県対馬・五島海域の漁模様 | 今年は不漁 (詳細は、3-(2)- , 参照) |
| (3) 高知県の漁模様 | 今年は不漁 (詳細は、3-(2)- 参照) |
| (4) 日本海の産卵親魚の漁模様 | 過去最高の大好漁 (詳細は、3-(3)- 参照) |
| (5) カタクチイワシの漁模様 | 平年を上回る (詳細は、3-(1)- 参照) |

これらを総合的に検討すると、本県の漁期全体のヨコワの漁獲量は、今後の海況条件等にもよりますが、「あまり期待できない」と考えられます。

今後、水技センターが発表する水温情報に注目してください。目安は、18~20 の水温帯です。

3 情報

(1) 漁海況に関する情報

(社)漁業情報サービスセンター発行の「東シナ海漁海況速報」では、黒潮~対馬暖流域の表面水温分布は、10月については降温傾向で前年・平年と比較して「並~やや高」、11月については停滞傾向で「並~やや低」、12月については前半は停滞傾向で「並~やや低」、後半は降温傾向で「やや低~1 低」、1月については停滞傾向で「やや低~1 低」で、1月末~2月頭に入ってから停滞傾向で「並~やや低」で推移しています。

当所が平成17年12月に発表した「鹿児島県の海況と浮魚魚類漁況の予報（平成17年度第4四半期）」によると、平成18年1月～平成18年3月にかけての海況の見とおしは次のとおりです。

海流及び水系分布

薩南海域における黒潮北縁域の位置は、離接岸を繰り返しながら「屋久島南付近（平均的な位置）」で推移する。

水 温

表層水温は、前半、後半ともに、本県本土海域では、「平年並み～高め」で推移する。

カタクチイワシ

平成18年1～3月期のカタクチイワシについては、漁獲の主体は「中羽～大羽」で、来遊量は「平年を上回る」と予測している。平成18年2月8日現在の集計では1月の漁獲は大羽主体に好調に推移している。

(2)現在までのヨコワ情報

日本海方面

山口県：例年ヨコワは曳縄主体で漁獲され、11月～12月が盛漁期である。平成17年11月の水揚尾数は平成6年以降では平成16年に次ぐ2番目の量（過去5ヶ年平均の2倍弱）であったが、12月は昨年の5分の1の量にとどまった。合計すると平成16年同時期の約半分の漁獲尾数にとどまった（過去5ヶ年のほぼ平均の尾数）。

島根県：ヨコワは旋網での漁獲が主体であるが10～11月にかけて曳縄でも漁獲される。日本海発生群と考えられる1kg弱の当歳魚（養殖用種苗）については例年並みの漁獲量となっている。

新潟県：ヨコワは主に定置網により漁獲され、1月には日本海発生群と考えられる1kg台の当歳魚が入るが、例年と比較して少ない模様。

対馬方面

10月上旬より曳縄漁が始まり、中旬までは太平洋発生群と考えられる2～3kgの1歳魚を主体に約90kg/隻と例年を上回るペースで漁獲された。10月下旬以降は5kg以上の2歳魚主体となり、12月上旬まで170～220kg/隻と好調に推移したが、それ以降は24～59kg/隻と低調となり、12月末以降水揚はされていない。

五島方面

北部では12月中旬より曳縄漁が始まり、当初は7kg以上の2歳魚を58kg/隻、12月下旬は太平洋発生群と考えられる2.0～3.0kgの当歳魚主体を主体に43～108kg/隻と例年を上回るペースで漁獲されたが、1月中旬以降は日本海発生群と考えられる1.0～1.5kgの1歳魚を21～37kg/隻と低調な漁模様である。

南部では昨年より2ヶ月ほど遅れて平年並の1月中旬から曳縄漁が始まり、日本海発生群と考えられる1.0~2.0kgの当歳魚を9~23kg/隻とまだ本格的な漁には至っていない。

大中型まき網（松浦方面）

10月中旬より旋網によりヨコワが漁獲され始め、10月には334.2トン、11月には272.9トンと例年を大幅に上回るペースで水揚げされたが、12月以降は低調な漁模様である。

太平洋方面

宮崎県：1月上旬頃（前年より約1ヶ月早い）から浮魚礁周辺で曳縄による漁獲が始まり、5~70kg/隻（月計で34kg/隻）と、まだ本格的な漁には至っていない。漁獲サイズは日本海発生群と考えられる0.6~1.7kgの当歳魚、太平洋発生群と考えられる2.5~3.5kgの1歳魚、5kg以上の2歳魚が混在している。

高知県：7月5日頃（前年より7日早い）から始まり、その漁獲尾数は約24,000尾で前年の約69,000尾、平年値の約33,000尾を下回った。

鹿児島県沿岸域

笠 沙：笠沙~甕島海域での曳縄による水族館用種苗のヨコワ採捕は、前年より遅く、8月中旬（盆過ぎ）に開始された。平年より小型サイズが多く、また来遊量も非常に少なく、前年の6割強の漁獲尾数にとどまり、注文数を確保できずに8月下旬に終漁した。

平成17年：1,037尾、平成16年：1,661尾、平成15年：2,882尾、
平成14年：249尾、平成13年：883尾

1月中旬以降、曳縄によるヨコワ漁獲が始まり、1kgサイズの日本海発生群と思われる1歳魚主体。下旬以降はまとまった漁無し。

甕 島：1月上旬に、曳縄による漁獲が始まった。1.2~1.3kgの日本海発生群と思われる1歳魚主体。2月に入りまとまった漁無し。

(3)クロマグロ大型群に関する情報

太平洋方面

北部太平洋で今年の4~9月に大中型まき網により漁獲されたクロマグロは、20kg以上の「マグロ」の漁獲量が222トン（前年：2,494トン）で対前年比8.9%と大幅に減少。、20kg未満の「メジ」の漁獲量は185トン（前年：113トン）で対前年比163.7%と増。

日本海方面

日本海の境港に今年、大中型まき網により水揚げされたクロマグロは、漁獲量2,985トン（前年：1,703トン）で対前年比175.3%、漁獲尾数46,114尾（前年：32,310尾）で対前年比142.7%と、過去最高の水揚げであった前年をさらに上回った。1尾当たりの平均個体重量は、前年より若干大きい60kgサイズ（前年：50kgサイズ）であったが、モードを見てみると、50~60kgサイズ（2001年（平成13年）生まれの4歳魚、2000（平成12）年生まれの5歳魚）と100kgサイズ（1998（平成10）年級の7歳魚）の複数の年級群が混在していた。

新潟県の定置網でも5～8月にかけて、50kgサイズ(2001年(平成13年)生まれの4歳魚)を中心に前年の2倍と好調であった。

(4)本県における水揚げ量の経年変化

過去の枕崎の水揚げ実績をみると200トンを超えるような好漁年の期間と50トンに満たない不漁年の期間が交互に来る周期が伺える。昭和61年以降は、10トンに満たない低調な年が続いていたが、ここ数年は多い年で40トン前後の水揚げがあり、平成16年には216トンと昭和53年以来の200トンを超える好漁となった。

笠沙においても昭和60年までは周期的な豊漁年がみられたが、昭和61年以降、漁が途絶えていた。しかし、平成8年は、昭和60年以来10年ぶりに16トンと10トンを超える水揚げがあり、平成16年も15トンと10トンを超える漁獲があった。

野間池においても昭和61年以降は低調な年が続いていたが、平成16年は45トンと過去最高の水揚げを記録した。

(情報及び資料の収集先)

本情報の作成にあたっては下記の団体、機関に多大なる御協力をいただきました。心から感謝します。ありがとうございました。

小値賀町漁協・五島漁協・上対馬町漁協・上県町漁協(長崎県)

甕島漁協・笠沙町漁協・野間池漁協・枕崎市漁協(鹿児島県)

北部太平洋まき網漁業協同組合連合会・山陰旋網漁業協同組合

新潟県水産海洋研究所・鳥取県水試・島根県水試・山口県水産研究センター・高知県水試・

長崎県総合水試・宮崎県水試・対馬水産業普及指導センター・五島水産業普及指導センター

独立行政法人 水産総合研究センター - 遠洋水産研究所

鹿児島県水産技術開発センター

〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10

TEL : 0993-27-9212 , FAX : 0993-27-9218

E-mail : suisan@kagoshima.suigi.jp

ホームページ : <http://kagoshima.suigi.jp>

<http://kagoshima.suigi.jp/i/> (携帯電話)

下甕島沖浮魚礁音声情報サービス TEL : 0993-27-9233

漁海況週報FAX情報サービス

衛星画像(水温分布図) FAX : 0993-27-9234

漁海況週報 FAX : 0993-27-9235

